

# 公益財団法人京都市生涯学習振興財団

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 松本紘

### 2 所在地

京都市中京区聚楽廻松下町9番地の2

### 3 電話番号

075-802-3141

### 4 ホームページアドレス

<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/asnyl/top.html>

### 5 設立年月日

昭和56年3月16日

### 6 基本財産

80,000千円（うち本市出えん額 80,000千円，出えん率 100.0%）

### 7 事業目的

京都のもつ歴史と文化を生かした生涯学習事業を推進し，生涯学習の振興を図るとともに，京都市における教育と文化の発展に寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 講座，講演会及びその他の催しの開催
- (2) 体験活動事業等の実施
- (3) 生涯学習情報の収集及び提供等
- (4) 博物館等における展示事業の実施
- (5) 生涯学習施設における貸館事業
- (6) 生涯学習のための図書及び資料等の購入・収集・貸出・返却，参考業務及び読書推進事業の実施
- (7) その他公益目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

教育委員会生涯学習部施設運営担当（TEL075-801-8822）

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

松本紘

#### (2) 副理事長

若林卯兵衛，武田道子

#### (3) 専務理事

中村公紀

#### (4) 理事

奥野美奈子，加藤法生，久村剛史，榊原吉郎，染川香澄，谷村仁志，仲田雅博，永田萌，  
在田正秀（教育長）

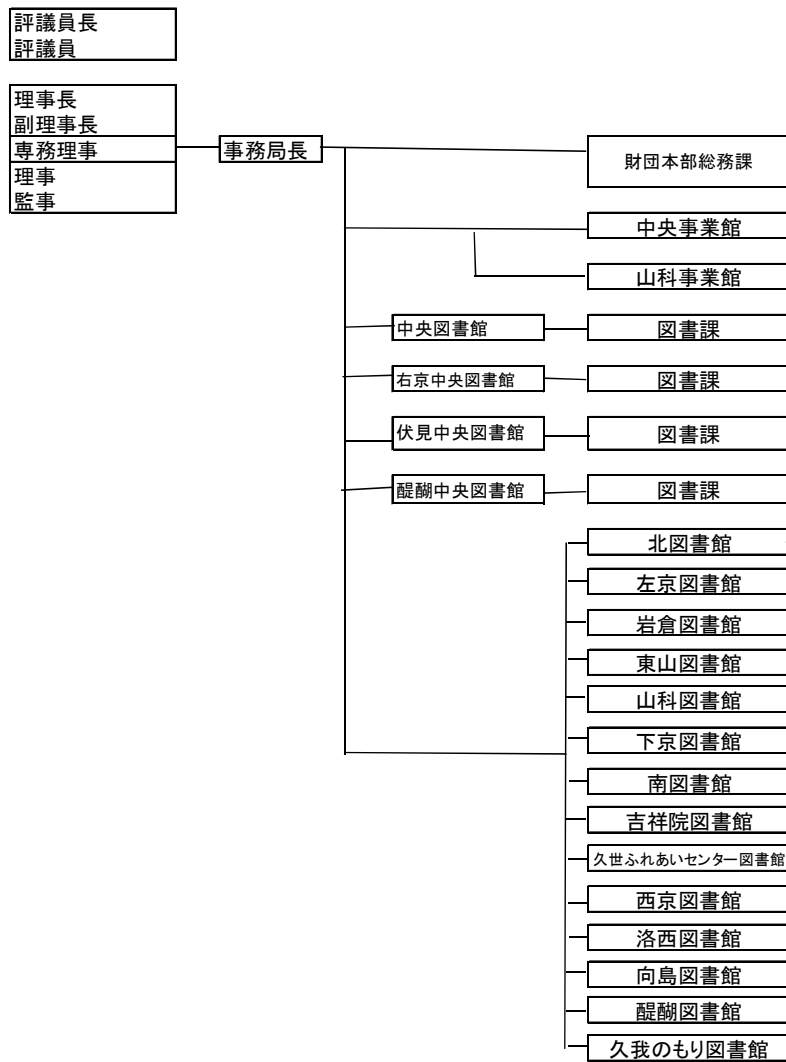
#### (5) 監事

丹波寛志，春田寛（教育委員会総務部長）

### 11 常勤職員数

214人（うち本市派遣職員14人）

12 組織機構



第2 経営状況

1 令和元年度決算

(1) 事業報告

ア 財団事業

(ア) 生涯学習総合センター（京都アスニー）

a 講座，講演会及びその他の催し

事業名	講座数	事業回数	延べ受講者数
アスニーセミナー	64	219	10,998
アスニーナイトプログラム	1	1	133
アスニーアトリエ	64	1,064	13,090
アスニーアトリエ特別講演	1	1	170
アスニーコース	8	317	12,273
アスニーコンサート	10	10	3,038
アスニー文化祭	—	—	—
合計	148	1,612	39,702

b 文化誌等の発行及び友の会の運営

(a) 「創造する市民」の発行（第113号1,600部，第114号1,600部発行）

(b) 生涯学習講座案内「まなびすと」の発行

(c) 友の会「京都まなびすと」の運営（会員782人）

## (イ) 生涯学習総合センター山科 (アスニー山科)

事業名	講座数	事業回数	延べ受講者数
アスニー・アトリエやましな (気軽に楽しんで学習できる多彩な実技講座)	39	281	3,587
アスニー・アトリエやましな (技能習得をめざすパソコン講座)	42	157	506
アスニーコーラス山科	3	110	6,823
アスニー山科文化祭	1	2	1,005
合計	85	550	11,921

## イ 受託事業

京都市生涯学習総合センター (京都アスニー), 京都市生涯学習総合センター山科 (アスニー山科) 及び各京都市図書館

## (ア) 講座, 講演会等

事業名	講座数	事業回数	延べ受講者数
生涯学習総合センター(京都アスニー)			
古典の祭典 2019	1	1	673
ゴールデン・エイジ・アカデミー	41	41	15,291
アスニー「京都学」講座	20	20	2,295
視聴覚センター事業	36	37	7,921
小計	98	99	26,180
生涯学習総合センター山科(アスニー山科)			
学びのフォーラム山科	37	37	8,352
ゴールデン・エイジ・アカデミー同時中継	39	39	2,161
アスニーシネマ山科	11	11	1,950
クルスポット夏休み子ども教室	2	2	72
クルスポット長編映画会	2	2	270
小計	91	91	12,805
図書館 (※)	479	1,353	53,668
合計	668	1,543	92,653

(※) 深草図書館及びこどもみらい館子育て図書館分を含む

## (イ) 生涯学習情報発信事業の取組 (京都アスニー)

- a 生涯学習情報コーナー
- b インターネットのホームページによる情報発信

## (ウ) 古典の日記念 京都市平安京創生館の運営

入館者数:85,147人

## ウ 共催事業 (公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所等との共催)

- (ア) 古典の日記念 京都市平安京創生館企画展示 発掘調査成果写真展  
「発掘調査成果写真展 2018」「発掘調査成果写真展 2019」(京都市, 埋文研)
- (イ) 京都市中途失明者点字講習会 (京都府視覚障害者協会)
- (ウ) 講演会「映像でつづる京都・久多 - 地域の魅力を伝える短編映像の上映と解説 -」  
(京都ふるさと伝統行事普及啓発実行委員会)

- (エ) 中京区制 90 周年記念事業「子ども歴史・文化体験」  
(中京区役所地域力推進室総務・防災担当)
- (オ) 京都市考古資料館文化財講演会  
「近世京都の芸能と暮らし - 京都市指定文化財『御土居（西九条周辺）出土品』をめぐって」  
(京都市考古資料館)
- (カ) 「京都の祭り行事 - 山鉦と剣鉦 - 」(京都ふるさと伝統行事普及啓発実行委員会)
- (キ) 第 23 回 KGA 合唱の集い (京都ゴールデンエイジ合唱の集い実行委員会)

エ 施設の利用状況

- (ア) 生涯学習総合センター，生涯学習総合センター山科

	利用回数
京都アスニー研修室等	6,134
視聴覚センター	909
アスニー山科研修室等	3,544
合 計	10,587

- (イ) 図書館

(※) 深草図書館及びこどもみらい館子育て図書館分を含む

	利用回数(貸出人数,回数)	冊数(点数)
個人貸出	2,436,502	7,543,209
団体貸出	5,789	44,093
在宅貸出	3,083	7,364
予約件数	-	1,990,462
参考業務	48,246	-

## (2) 財務諸表

## 貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	42	259	△218
小口現金	23	31	△8
普通預金	211,279	195,348	15,931
未収金	809	569	239
棚卸資産	2,043	2,618	△575
商品券	2	2	0
仮払金	1,541	1,720	△180
前払金	1,346	1,210	137
繰越税金資産（流動）	0	0	0
流動資産合計	[217,084]	[201,758]	[15,326]
2. 固定資産			
（基本財産）			
定期預金	40,000	40,000	0
投資有価証券	40,000	40,000	0
基本財産合計	(80,000)	(80,000)	(0)
（特定資産）			
退職給付引当資産	235,781	187,061	48,720
退職給付引当投資有価証券	187,980	267,980	△80,000
駐車場積立資産	22,115	21,115	1,000
運営基盤整備積立資産	20,070	9,000	11,070
周年事業積立資産	2,600	300	2,300
特定資産合計	(468,546)	(485,456)	(△16,910)
（その他の固定資産）			
建物付属設備	1,679	2,032	△353
構築物	1,535	1,755	△221
什器備品	2,026	2,212	△187
電話加入権	5,812	5,812	0
商標権	126	147	△22
繰延税金資産（固定）	3,458	3,483	△25
その他固定資産合計	(14,634)	(15,441)	(△807)
固定資産合計	[563,180]	[580,897]	[△17,717]
資産合計	780,264	782,655	△2,391
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	124,389	124,176	213
未払法人税等	875	1,135	△260
未払消費税等	28,398	14,647	13,750
前受金	2,931	2,852	79
預り金	8,838	8,559	279
賞与引当金	71,000	65,520	5,480
流動負債合計	[236,431]	[216,889]	[19,541]
2. 固定負債			
退職給付引当金	423,761	455,041	△31,280
固定負債合計	[423,761]	[455,041]	[△31,280]
負債合計	660,192	671,930	△11,739
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
京都市出資金	30,000	30,000	0
京都市寄付金	50,000	50,000	0
指定正味財産合計	[80,000]	[80,000]	[0]
（うち基本財産への充当額）	(80,000)	(80,000)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[40,072]	[30,724]	[9,348]
（うち特定財産への充当額）	(44,785)	(30,415)	(14,370)
正味財産合計	120,072	110,724	9,348
負債及び正味財産合計	780,264	782,655	△2,391

正味財産増減計算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	291	294	△3
特定資産運用益	598	600	△1
事業収益	69,105	74,311	△5,206
受取補助金等	1,584,700	1,556,018	28,682
受取寄付金	300	0	300
雑収益	3,155	1,703	1,452
経常収益計	1,658,149	1,632,925	25,224
(2) 経常費用			
振興事業費	44,400	45,730	△1,330
受託事業費	1,586,305	1,548,846	37,459
サービス事業費	16,415	19,979	△3,564
生涯学習施設基金交付金	0	22,224	△22,224
管理費	781	896	△115
経常費用計	1,647,902	1,637,675	10,227
当期経常増減額	10,248	△4,750	14,998
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
什器備品除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	△0	0	△0
税引前当期一般正味財産増減額	10,248	△4,750	14,998
法人税、住民税及び事業税	875	1,135	△260
法人税等調整額	25	140	△115
当期一般正味財産増減額	9,348	△6,025	15,373
一般正味財産期首残高	30,724	36,749	△6,025
一般正味財産期末残高	40,072	30,724	9,348
II. 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	291	294	△3
一般正味財産への振替額	△291	△294	3
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	80,000	80,000	0
指定正味財産期末残高	80,000	80,000	0
III. 正味財産期末残高	120,072	110,724	9,348

## 2 令和2年度事業計画

### (1) 事業計画の概要

#### ア 京都市生涯学習総合センター事業の実施

##### (ア) 財団自主事業

- a アスニー文化祭～学びとふれあいの広場～の実施
- b アスニー山科文化祭の実施
- c アスニーセミナー
- d アスニーアトリエ
- e アスニーコーラス
- f アスニーコンサート
- g 京都通の文化誌「創造する市民」の発行
- h その他

##### (イ) 受託事業（京都市からの委託を受けて実施）

- a 古典の祭典2020の開催
- b 京都市平安京創生館の運営
- c ゴールデン・エイジ・アカデミー
- d アスニー京都学講座
- e 学びのフォーラム山科
- f 視聴覚センター事業
- g アスニーこどもコンサート・キッズシネマ
- h アスニーシネマ
- i バリアフリー映画会
- j その他

##### (ウ) 貸館事業

##### (エ) 情報発信

#### イ 図書館事業の実施

##### (ア) 一層身近な図書館となるよう利便性の向上に努める取組

- a 開館日・開館時間の拡充を踏まえた利用増の取組
- b 京都市図書館情報網「京・ライブラリーネット」の充実
- c 資料の取寄せ、返却ポストの設置及びブックメール巡回等の取組
- d 「読書バリアフリー法」の趣旨を踏まえただれにでもやさしい開かれた図書館としての取組
- e 隣接自治体との図書館相互利用の実施及び他の図書館との連携
- f 京都大百科辞典的図書館機能の充実
- g ブックリサイクル
- h 図書館情報誌「京図ものがたり」等の発行
- i その他

##### (イ) 読書活動の推進に向けた図書館を活用した生涯学習推進事業

- a 「第4次京都市子ども読書活動推進計画」に基づく学校との連携事業
- b ブックスタート関連事業
- c 学校図書館充実に向けた支援
- d 「子ども読書の日」記念事業
- e 読書週間記念事業
- f 図書・資料の特設展示
- g 文化庁移転を踏まえた文化芸術事業
- h 地域の特色に応じた取組
- i 他団体と連携した取組

- (ウ) その他
  - a 図書館ボランティアの養成・導入
  - b 図書館実習，研修等への協力
- ウ その他の事業
  - 駐車場の運営，自動販売機による飲料水の販売ほか



## (2) 予算

## 正味財産増減予算書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	290	293	△3
特定資産運用益	386	598	△212
事業収益	67,851	69,122	△1,271
受取補助金等	1,628,882	1,580,719	48,163
雑収益	1,330	1,950	△620
経常収益計	1,698,739	1,652,682	46,057
(2) 経常費用			
振興事業費	44,596	45,320	△724
受託事業費	1,632,090	1,642,430	△10,340
サービス事業費	19,115	20,716	△1,601
生涯学習施設基金交付金	0	0	0
管理費	1,130	1,146	△16
経常費用計	1,696,931	1,709,612	△12,681
当期経常増減額	1,808	△56,930	58,738
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
法人税、住民税及び事業税	1,700	2,500	△800
当期一般正味財産増減額	108	△59,430	59,538
一般正味財産期首残高	30,724	67,277	△36,553
一般正味財産期末残高	30,832	7,847	22,985
II. 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	290	293	△3
一般正味財産への振替額	△290	△293	3
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	80,000	80,000	0
指定正味財産期末残高	80,000	80,000	0
III. 正味財産期末残高	110,832	87,847	22,985

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H29 (決算)	H30 (決算)	R1 (決算)	R2 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	1,618,059	1,632,925	1,658,149	1,698,739
	当期経常増減額	△5,626	△4,750	10,248	1,808
	当期正味財産増減額	△7,581	△6,025	9,348	108
貸借対照表	総資産	818,491	782,655	780,264	
	総負債	701,742	671,930	660,192	
	正味財産	116,749	110,724	120,072	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H29 (決算)	H30 (決算)	R1 (決算)	R2 (予算)
委託料	生涯学習事業の実施	1,540,806	1,556,018	1,584,700	
補助金	各種講座・講演会等事業補助	118			

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>公益財団法人として公益事業を多く実施する中、収支規模の1%未満の経常増減額のマイナスが続いたが、令和元年度はプラスに転じている。法人を安定的に持続させていくために必要な資産の準備もできており、厳しい財政状況ではあるが法人としての財務マネジメントが機能している。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習総合センターでは、新型コロナウイルス感染症拡大への対策により、令和2年2月28日以降の主催事業を段階的に中止したことから、1年の事業参加者数総数は昨年度に比べ減少している。一方で、セミナーやアトリエ（体験講座）など前年数を維持できている事業のほか、コンサートでは1回あたりの参加者数が300人超を維持できていることは評価できる。</li> <li>また、図書館でも同様に、3月から各種イベントを中止した影響により1年の来館者数は減少したが、貸出件数が伸びていることは留意する必要がある。</li> </ul>

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年の赤字要因であった一時的な支出もなく、3期ぶりに当期経常増減額が黒字となったが、引き続き、経費節減や収入確保に努め、安定的な運営を継続してもらいたい。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市委託事業である京都市生涯学習総合センターでは、事業参加者数が減少したものの、大学等との連携による「平安京ジオラマナビ」（ARを活用したデジタルコンテンツ）を設置するなど、積極的な事業展開を行っている。</li> <li>また、図書館の運営において、入館者数が減少しているものの、ネットワーク環境の充実や館外返却ポスト増設により、資料等の流通点数は増加しており、時代のニーズに合った事業展開が出来ていると評価でき、引き続き、利用者のサービス向上に努めてもらいたい。</li> </ul>